



# 総務文教常任委員会

本会議において付託された議案は、条例関係1件、集中管理、生保内財産区の各特別会計2件、請願1件である。

また、予算常任委員会より仙北市一般会計補正予算（第11号）の内、当分科会に係る案件が分担された。

## ■議案第132号

### 仙北市集中管理特別会計補正予算（第1号）

職員11人の減少により、業務に影響はないか。

答 新規採用もあり、差し引きして11人の減であるが、各部署の協力をいただき業務を行っている。また、来年度に向けて再任用制度の運用について関係者と協議をしている段階であり、退職者、新規採用者合わせてカバーしていきたい。

今後、一体型庁舎に向けた機構改革に伴い、職員の業務体制を見直す事により、環境整備についても検討に入っている。

## ■議案第138号

### 仙北市生保内財産区特別会計補正予算（第2号）

財産区管理会費の旅費について、3月に猪苗代で開催されるモーグルワールドカップへの視察研修のための旅費という事であるが、今後、本市で開催されるモーグルジャパンカップ及びワールドカップの成功に向けての視察ならば、財産区の委員だけよりも、教育委員会等の専門家も一緒に視察した方が良いのではないか。

答 教育委員会では、大会運営と競技関係の視察が行われるようである。財産区は田沢湖スキー場の土地所有者でもあり、スキー場の運営にも関わっている株主でもある。財産区の視点に立ち、ワールドカップでのスキー場全体の運営関係の視察し研修を行うものである。

## ■請願第3号

### カヌーコース被害に関する請願書

8月の豪雨で流されてしまったこのコースは、日本で

唯一の公認コースだった。このコースを復旧する事により、東京オリンピックの際に外国人も練習場として使用できる。カヌーを盛んにする事で、国体での秋田県の順位向上の為に役立つ。日本のカヌーの為に大切なコースであるので、ぜひ作っていただきたいとの賛成意見があった。

## 採決の結果

議案3件については、全会一致で原案を可とすべきものと決定した。請願については、採択すべきものと決定した。

## ■議案第131号

### 仙北市一般会計補正予算（第11号）

教育委員会関係の美術館費、常設・企画展示費の内、藤あや子展について質疑が集中した。

問 総体の事業費について、今回の補正額115万8千円、平成26年度当初予算の見込額として約162万7千円の他に、更なる経費はかからないのか。

答 かかる経費の全てを見込んでいる。

問 美術館運営審議会では、平福記念美術館で開催すべき



モーグルジャパンカップ、ワールドカップの開催が予定される黒森ゲレンデ（たざわ湖スキー場）

という意見で一致したのか。

答 運営審議会の委員の中にはプロの画家もおり、美術的に如何かとの意見も出されたが、平福記念美術館の名を知らしめる為の集客という側面や、藤あや子さんが地元出身という事も考慮し、開催という結論に至った。

問 平福記念美術館の権威が損なわれないのか。地元を応援するという事ならば、例えば、町中の蔵を活用する事により、お客様を町中に誘導する事も検討されたのか。

答 運営審議会でも同様な意見があり、美術館の権威という事も議論されている。しか

し、秋田市のエリアなかいちにある美術館でも、大衆的、サブカルチャー的な要素を含む作品展も開催されている事から、美術館の展示に対する考え方は、より多様化している風潮にあるのではないかと、いう意向でまとまった。

この展覧会の出発点は、藤あや子さんご自身が「片岡鶴太郎展」を鑑賞された際、ご本人から、このような形で仙北市に元気を与えられたらという思い入れから端を発したものである。

（田口寿宜記）



# 市民福祉常任委員会

本会議より付託された案件は、議案5件。予算常任委員会から付託された議案は1件である。

## ■議案127号

仙北市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について

問 源泉分離課税から申告分離課税とする内容であるが、具体的にはどのような課税方法になるのか。

答 所得税及び住民税において特定公社債等の利子所得及び譲渡所得があった場合、今までは源泉分離課税にて源泉徴収により申告していたが、平成29年度より、金融商品に係る損益通算範囲の拡大と併せ、確定申告による課税方式に変更するものである。

■議案128号  
仙北市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定について

## ■議案136号

平成25年度仙北市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について

## ■議案137号

平成25年度仙北市介護保険特別会計補正予算(第2号)について

## ■議案第140号

平成25年度仙北市病院事業会計補正予算(第1号)について

問 災害派遣医療チーム通称DMAT(デイマツ)の活動内容は。

答 震度6弱以上の地震が発生した場合や津波警報が発表された場合などの大規模な災害が発生した場合、隊員に待機命令が出され48時間以内に行動できる体制を整え、被災地に派遣され医療活動を行う。

問 構成はどうか。

答 医師1名 看護師2名 調整員2名の5名。調整員2名は放射線技師と事務員を検討している。

以上の5議案は全会一致で可と決定

## 議案131号

平成25年度仙北市一般会計補正予算(第11号)について

社会福祉費

●老人福祉施設措置費負担金567万2千円について

問 寿楽荘入所者の措置費負担であるようだが、入所者の状況について知りたい。

答 12月12日現在66名である。仙北市37名、他町村29名である。

最大入所可能数は、80名。新しい施設は75名となる。

問 寿楽荘の移転改築状況について何う。

答 12月10日現在で78%の進捗状況である。12月中に完成し1月に機械設備を配置して末には引き渡しが行われる。社会福祉協議会によると2月中旬には引越しが完了する見込みと伺っている。

県の補助事業であるが現在使用の施設は解体し更地にして3月いっぱい完了する。

児童福祉費

●子ども・子育て支援事業費1128万6千円について

問 子ども・子育て推進事業費の詳細を知りたい。

答 27年4月からスタート予定の新しい子ども・子育て支援制度に向けての準備費用である。新しい制度の下では、実施主体の市町村が、すべての児童について保育の必要性の認定を行うことになる。その上で支給認定をするため、それに伴う給付費の支給に関する審査・支払等を行う必要があり事務処理を電子システム化する。必要な情報を国・県と共有するシステムで全国一斉に整備される。

全額、国の補助として26年度に支払われるが、25年度内に発注が条件となる。来年7月からテスト運用できるようにしたい。

災害救助費

豪雨災害復興支援事業費81万2千円について

問 災害義捐金の配分状況は。

答 先達地区に対し、配分委員会の決定を経て、1回目を11月に305万5千円を支払っている。全体で635万円を第1次配分としている。2月、3月にも追加配分があると思う。

災害救助費

●職員給与と費670万3千円について

問 内訳は。

答 8月9日の先達地区土砂災害時の職員時間外手当がほとんどである。

8月9日から14日まで、避難所の運営、飲料水の手配、救出等述べ315名、2304時間の時間手当として472万9千円である。残りは、監視センターの職員、土日の勤務等に支払われる。各担当部署の合計がすべてこの中に入っている。災害救助法が適用されており、国・県からの補助が得られる見込みである。

1時間の平均単価は2405円、一般職一人当たり平均は4万9244円である。

水道費

●簡易水道事業特別会計繰出金28万3千円について

問 内容は。

答 電気料の増額見込みと当初予定していた料金収入の減少による。収入が減少すれば繰り出すことになる。(平岡裕子記)



# 産業建設常任委員会

本会議より付託された議案は8件、請願1件、予算常任委員会より付託された議案は1件である。

■議案第139号  
平成25年度仙北市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

■議案第129号  
仙北市市営土地改良事業分担金徴収条例の一部を改正する条例制定について

問 消火栓が設置できなかった影響はないか。地域にはこの事を周知徹底されたのか。拡張事業の引き込みに必要な経費は、ばらつきが大きいが基準等は考えられないのか。

■議案第130号  
平成25年度仙北市簡易水道事業特別会計への繰入額の変更について

答 住民からの要望で予算化したのが、主水管が50mmの管口径のため設置できず、防火水槽等で対処する。地域への周知は環境防災課で対応している。消火栓が設置できなかったのは当初予算時の管口径の見直し誤りであった事を陳謝する。

■議案第134号  
平成25年度仙北市集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

引き込みに関する経費は、条件や業者によって違うので一概に基準を設定する事は出来ない。説明会等では、複数社から見積もりを頂くよう説明している。今後もそうした

◎以上の5議案については全会一致で可と決定

全会一致で可と決定

■議案第141号  
平成25年度仙北市水道事業会計補正予算(第2号)

問 水源で困っている神代地区で、水源地調査を実施し、水が出たにもかかわらず、揚水試験等の次の段階に向けて、補正予算等での対応は考えられなかったのか。

答 卒田黒倉にて、民間の方が掘った井戸が有望との事から、揚水試験を実施した。まだ水があるのに、スクリーンの状態の空隙率が低く、最大値を確認できない状態であった。今の管を引き抜いて、新たに管を入れる予算も難しい。電気探査をしたところ40m地点には間違いなく水があり、70mの所にもある事が判明した。来年度は、それらを併せて揚水試験を実施し、基本計画に結び付けたい。

◎委員からの意見  
神代地域では、長年の悲願だった水道整備である。水源が発見されたら、早急に次の段階へ進める事と空白期間のない事業計画をし、困っている住民の要望に応える事。

全会一致で可と決定

■議案第142号  
公の施設の指定管理者の指定について

問 「かたくり館」の小破修繕はいくらまでか。賃金形態はどうなっているか。

答 5万円を小破修繕とし、指定管理者が行う。賃金は秋田県の最低賃金としている。

■請願第4号  
久保川第二本流改良促進に関する請願書

◎本請願については、受益者の姿が見えない等の点があり、更に慎重な審査を必要とする為、継続審査とする。

■議案第131号平成25年度仙北市一般会計補正予算(第11号)

【歳出】  
●6款2項1目 林業費  
木質バイオマス施設管理運営費

問 ①当初予算の倍の補正予算になった理由と年度末で、4千万強の赤字見込みである

が今後の稼働はどうなのか。  
②仙北市の山からの間伐材使用量、チップ使用量、CO2がいくら削減されたか等の数字が出てきていない。環境面でも市民に説明できないと意味がない事業になってしまうのではないか。

③新年度予算に検証結果を反映させなければ予算の考え方に合わないのではないか。

答 ①当初予算要求が財政上発電努力を含めての査定となり、明らかに足りないのので補正予算をお願いしている。今後は発電の予測がつかない。運転して見なければわからないのが現状である。

②森林組合等から数字を把握し、森林の伐採等の報告をしたい。CO2削減量は小学校の見学会の折に数字を出しているのので今後報告の時、載せるようにしていきたい。

③検証を25年度内に終えたいが、委員の都合で伸びている。結果を新年度予算に活かしていきたいと考えている。

●7款1項 商工業振興費  
企業誘致対策費

問 ①工場設計画に変更はないか。着工はいつになるか。  
②雇用面で、新規採用の計画は推進しているか。中途採用

